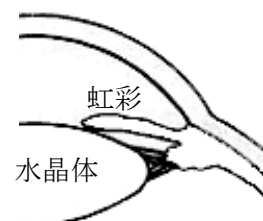
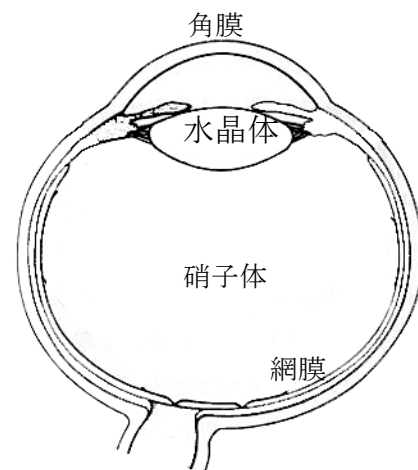


増殖性糖尿病網膜症に対する硝子体手術

1) 増殖性糖尿病網膜症について

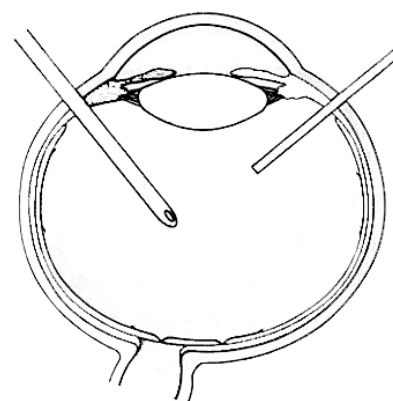
眼の構造はカメラと似ています。外の様子が角膜、水晶体、硝子体を通して目の奥の網膜（いわばカメラのフィルム）に写り、そこから脳に信号が送られます。硝子体は99%以上が水からできているゲル状の透明な組織です。

糖尿病網膜症によって網膜が血流不足（酸欠状態）になると、網膜に新生血管が生じ「増殖性糖尿病網膜症」となります。新生血管は出血しやすく「硝子体出血」を起こしたり、網膜表面に増殖膜を形成して「網膜剥離」を併発したりします。また、虹彩に新生血管が生じると「血管新生緑内障」を併発します。これらの併発症は単独で生じる場合もありますが、しばしば組み合わさって生じます。



2) 手術の方法

手術は原則として局所麻酔で行います。硝子体手術では、まず硝子体を切除します。続いて増殖膜の治療を行います。増殖膜の治療には、光凝固・増殖膜除去・止血・等を行い、必要に応じて空気やSF6ガスやC3F8ガスやシリコンオイルを眼内に注入して手術を終了します。空気・ガス・シリコンオイルを注入した場合には、術後うつ伏せの姿勢を保つ必要があります。うつ伏せ期間は注入した物質や病状によって異なるため、術後担当医から御説明します。空気、ガス、シリコンオイルを注入せずに終了した場合は、うつ伏せの必要はありません。



3) 白内障同時手術

白内障があると、手術中に眼底が観察しにくいため、手術に支障が生じる場合があります。また白内障が軽くても、硝子体手術後に白内障が進行する事あります。また、確実に手術操作を行うために水晶体を除去することもあります。このような場合には硝子体手術と同時に白内障手術を行います。

4) 硝子体手術をうける前に

他の手術と同様に硝子体手術を受ける前には全身検査を実施し、手術をすることが可能かどうか決定します。糖尿病の病状や全身合併症によっては、内科や他科の医師と連携をとりながら、手術を予定します。術後にうつぶせ姿勢が必要なこともあるため、うつぶせ姿勢が可能かどうかも重要となります。

5) 手術後の視力

増殖性糖尿病網膜症の病状によって異なります。また増殖性糖尿病網膜症以外に、視力に悪影響のある疾患を併発している場合は良好な術後視力を得られないこともあります。

6) 術中合併症

A) 麻酔・抗生物質

麻酔薬、および感染予防に用いる抗生剤は化学物質であるため、ごく稀にショックを起こすことがあります。手術前に薬剤テストを行います。それでもショックを予見できないこともあり、その場合には最善の処置をとります。また、麻酔の際、眼球の後ろに出血(球後出血)を起こすことがあります。球後出血が起きた場合は手術を中止し、2日～1週間ほどの間をあけて再度手術を行います。ほとんどの場合、球後出血は一過性で視力に影響しませんが、極まれに重篤な視力障害の原因となることがあります。

B) 網膜剥離・網膜裂孔

硝子体切除や増殖膜除去に伴い、網膜が引っ張られて網膜裂孔・裂孔原性網膜剥離が生じることがあります。また硝子体出血があると、術前から併発していた、網膜裂孔・裂孔原性網膜剥離が術前には判らないこともあります。網膜裂孔・裂孔原性網膜剥離は術中に光凝固で治療しますが、術後に再発した場合は追加の光凝固や追加手術が必要になることがあります。

C) 駆逐性出血

駆逐性出血とは眼内の血流動態の変化によって起こる網膜下の大出血で、高度の視力障害を起こす予後不良の合併症です。予防法も無く大変怖い合併症ですが、幸いその頻度は極めて稀です。

7) 術後合併症

A) 高眼圧症

術後の高眼圧症は、多くの場合一過性で、点滴・内服・点眼でおさまります。これらの治療で治らない場合に、眼内に注入したガスを注射針で少量抜いた

り、追加の緑内障手術が必要になることがあります。特に、術前から新生血管緑内障を併発していた場合、緑内障手術が必要になることがしばしばあります。

B) 低眼圧

術後に低眼圧になることがあります。自然治癒しない場合は、縫合を追加する事もあります。

C) 網膜裂孔・網膜剥離

眼球の前方に残してあった硝子体（前方の硝子体は網膜と強く癒着しているため切除できません）が収縮し、網膜を引きちぎるような力が加わるために、術後数ヶ月から数年して、網膜裂孔・網膜剥離が生じることがあります。増殖膜が再発して網膜裂孔・網膜剥離を生じることがあります。網膜裂孔や網膜剥離は放置すると高度な視力障害を起すことがあり、光凝固や手術が必要となります。

B) 再出血

増殖膜からの再出血や、増殖膜以外からの病巣から出血する事があります。病状に応じて、追加手術が必要になります。

E) 術後眼内炎

術後眼内炎は術創からばい菌が入り、眼に化膿性炎症が起こる重篤な合併症です。抗生剤の点滴や手術が必要になります。術後眼内炎を予防するために、手術後に目を清潔に保つことが重要です。